

立憲民主党 さっぽろNEWS

2025 6/20

No.030

立憲民主党札幌支部【第6回定期大会】

参院選勝利へ一致結束

立憲民主党札幌支部は6月11日、第6回定期大会を開催し、市内選出の道議や札幌市議、党員ら約70人が出席。本年度活動方針を含む議案6件が承認され、目前に迫る参院選の勝利へ結束を固めた。

菅原代表は「参院選に向けて意思統一を図り、道選挙区で再選を目指す勝部けんじさんと、党の比例区候補予定者の当選を勝ち取りたい」と述べ、結束を呼びかけた。

活動方針では「来夏の大会で次期統一地方選の1次公認候補予定者を決定できるよう準備を進める」と明記。参院選闘争方針では「過去の国政選挙の結果を踏まえ、これまでの戦いを分析し、総力を結集した態勢の構築が不可欠」と訴え、各区支部との連携の下、「関係する各団体・支部が一体となり、万全の態勢で選挙戦に臨む」と表明した。

後期の役員体制も決定。菅原和忠代表（厚別区）の続投を決めたほか、代表代行にしのだ江里子市議（東区）、幹事長に松原淳二市議（厚別区）、副幹事長にあおいひろみ市議（南区）、政審会長にうるしはら直子市議（白石区）が就任。また、会計監査に清水敬弘道議（手稲区）と、たけのうち有美市議（中央区）を選任した。

大会には、来賓として秋元克広市長と札幌地区連合の吉田賢一会長が出席した。



参院選闘争方針などを決定した定期大会

第2回定例市議会

補正予算案など可決し閉会

第2回定例市議会は6月10日、本年度一般会計補正予算案を含む議案20件を可決・同意し、閉会した。「地方消費者行政の拡充・強化を求める」などの意見書案8件も可決した。

可決した一般会計補正予算案は、本会議初日（5月21日）の当初提案分11億9300万円と、6月6日の追加提案分5億2600万円。当初提案分で、札幌駅前の商業施設「エスタ」の解体費（4億6400万円）や定山溪地区を周遊する自動運転バスの実証実験（1億400万円）を盛り込んだ。追加提案分では、食材費高騰の影響を受けている学校給食の保護者負担を据え置くための予算（5億2600万円）を計上した。

第3回定例市議会は9月24日に開会し、会期は10月31日までの38日間を予定している。



永年勤続表彰伝達式 札幌市議員会【臨時会】

札幌市議員会の臨時会が6月10日、本会議場で開かれ、永年勤続議員に係る表彰状の伝達式が行われた。5月20日に東京都内で開催された全国市議会議長会の定期総会で表彰されたことによるもの。今回、30年以上在職した小野正美市議（手稲区）、10年以上の松原淳二市議（厚別区）、かんの太一市議（豊平区）、水上美華市議（北区、北見市議在職年数含む）に対し、表彰状が伝達された。

物価高から生活を守る!
地域を支える!

か つ べ
勝部けんじ
参議院議員



物価高から生活を守る

- 食料品の消費税率ゼロ!
- ガソリン減税・軽油減税
- コメなど食料品価格の引き下げ

- 子育て・高齢者世代への生活支援
「紙おむつ、家庭ごみ袋の無償配布」
- 灯油代、電気・ガス料金の引き下げ
- 物価高に負けない賃金アップと
正規雇用化

教育の無償化と負担軽減

- 小中学校の給食費・教材費・修学旅行費用を無償化
- 国公立大学の授業料無償化と
私立大学・専門学校の授業料の負担軽減
- 幼児教育・保育の無償化
- 一人ひとりに寄り添える教育環境の整備

安全・安心な食料の国内供給

- コメ・農畜産品の安定供給・自給率向上
- 農家を守る直接支払制度による所得向上
- 新規就農・後継者支援の強化
- 販路拡大による持続的な漁業・水産業の発展

住み慣れた地域で 暮らすことができる社会保障

- 地域の医療や介護を守る
- 保育・介護従事者の待遇の改善
- しあわせに暮らすことができる障がい者福祉の推進
- 持続可能な年金制度の充実

地域を支える

- 地域公共交通の維持・利便性向上
- 住民自治を支える一括交付金の復活
- 再生可能エネルギーの推進による電力の安定供給

国際平和の実現

- 平和憲法を生かした国際平和の実現
- 平和外交による諸外国との連携強化
- 自衛隊員の処遇改善と労働環境の充実

か つ べ けん じ
勝部賢志
Profile

- 1959年生まれ・千歳市出身・江別市在住
- 江別市や千歳市、旧厚田村の小学校教員として19年間勤務
- 道議会議員(江別市選挙区)を4期、副議長など歴任

- 2019年参議院議員に初当選(北海道選挙区)
- 参議院懲罰委員長、財政金融委員会委員、ODA及び沖縄・北方問題に関する特別委員会委員
- 党副幹事長、党北海道総支部連合会代表代行

勝部けんじの活動を
ご覧いただけます

